

都市再生整備計画(旧まちづくり交付金)
フォローアップ報告書

甘木地区

平成25年12月

福岡県朝倉市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	歩行者交通量	人/12時間	180	360	360	確定		あり	●	○	平成25年9月	○	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	アーケード撤去・道路整備に併せた土地利用誘導、空き店舗活用、イベントの開催や市民主体のまちづくり活動の実施により増加につながった。
						見込み	●	なし						
指標2	空き店舗数	店舗	29	空き店舗数:2 4新規店舗数:5	空き店舗数:9 新規店舗数:8	確定	●	あり	—	—	—	—	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	空き店舗活用、道路整備に伴う土地利用誘導方策等の検討により、空き店舗解消につながった。
						見込み		なし						
指標3	細街路残存率	%	46	40	40	確定		あり	—	—	—	—	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	幅員4.0m未満の道路改良と、幅員6.0m以上の新規道路整備により改善が進んでいる。
						見込み	●	なし						
指標4	地元まちづくり団体数	団体	5	10	7	確定	●	あり	8	平成25年9月	△		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	組織の細分化(部会運営→組織化)を行わず、「プラン21あまぎ協議会」主体の取り組みを実施したため、目標未達成となる。活動においては、積極的に住民参加を促し、目的を達成していると考えられる。
						見込み		なし						

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1						確定								
						見込み								
その他の数値指標2						確定								
						見込み								
その他の数値指標3						確定								
						見込み								

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4ー③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5ー③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	中心市街地の賑わい軸の形成	○まちづくり協定、地区計画等の検討	平成25年から平成29年に実施する事業においてアーケードの撤去と二日町・旭町線整備事業の進捗に合わせて継続して検討していく。	・第2期都市再生整備計画において、賑わい軸の整備を進める。 ○アーケードの撤去 ○二日町・旭町線整備 ○まちづくり協定、地区計画等の検討
	中心市街地として回遊性の高い歩行者ネットワークの形成と安全な市街地環境の整備	○まちづくり協定、地区計画等の検討	平成25年から平成29年に実施する事業においてアーケードの撤去と二日町・旭町線整備事業の進捗に合わせて継続して検討していく。	・第2期都市再生整備計画において、安全・回遊性に優れた歩行者ネットワークの整備を進める。 ○竹原・水町線整備 ○庄屋町・四日町線整備 ○公民館前通り線整備 ○七日町・馬場口線整備 ○照明施設整備 ○甘木中央公園整備 ○まちづくり協定、地区計画等の検討
	新たな魅力の創出	○空き店舗の活用	毎週金曜日イベントで空き店舗活用を図っているが、新たな業種の誘致に至っていない。しかし、外との連携により不足業種の商品を商店街で販売することが可能となった。	・「チャレンジ21」「甘木まちなか活性化協議会」等との連携を図りながら、沿道利用や店舗等の誘致を検討し、個性ある通りづくりの創出を進める。 ○空き店舗活用 ○観光資源の発掘・整備(ワークショップ、案内板整備等)
	「チャレンジ21」「甘木まちなか活性化協議会」の継続的な活動支援	○イベントの開催 ○「チャレンジ21」「甘木まちなか活性化協議会」活動支援	中心市街地と周辺地域・外部団体との連携により不足業種の商品を毎週金曜日のイベントで取り扱っている。他地域の応援(軽トラ市)もあり、少しずつが賑わいが高まっている。組織間交流等によりまちづくりに対する意識向上が図れた。	・住民(市民)による主体的なまちづくりを展開するため、それぞれの活動支援を継続していく。また、中心市街地として修景に配慮した通りづくり、まとまりある(住む人のとってまとまりのある。同じ意識をもった)市街地空間を形成するため、新規出店者・居住者との連携に向けた取り組みを行う。 ・既存メンバーに加え、新しいメンバー(地域住民、地区外住民、若者、その他関係団体(観光))の参加及び連携を進め、各種活動を展開する。 ○イベントの開催(外との連携) ○「チャレンジ21」「甘木まちなか活性化協議会」活動支援

改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	「チャレンジ21」「甘木まちなか活性化協議会」の継続的な組織支援	○イベントの開催 ○「チャレンジ21」「甘木まちなか活性化協議会」活動支援	同上	同上
	交通結節点(甘木駅)との連携	実施していない。取組み内容を検討中	—	・市の玄関口(交通結節点)の一つである甘木鉄道・西日本鉄道甘木駅との連携を図り、中心市街地(商店街)への誘導を図る。 ○まち歩きマップの検討 ○まちづくり協定、地区計画等の検討 ○甘木駅の利便性向上の検討
	安全な市街地形成	○ゾーン30の指定	回遊性の高い歩行者ネットワークの形成に合わせた歩行者の安全性が高まった。	・第2期都市再生整備計画において、安全な市街地形成に向けた取り組みを実施中 ○ゾーン30エリアの拡大
	良好な住まい環境の創出	実施していない。取組み内容を検討中	—	・住む場としても魅力ある市街地の形成と地域住民が愛着を持てるまちづくりを進めるため、まちなか居住の推進や住民との連携によるまちづくりを推進する。 ○まちなか居住支援事業 ○住民主体のまちづくり活動支援

事後評価シート 添付様式5－③から転記

様式4－④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項